

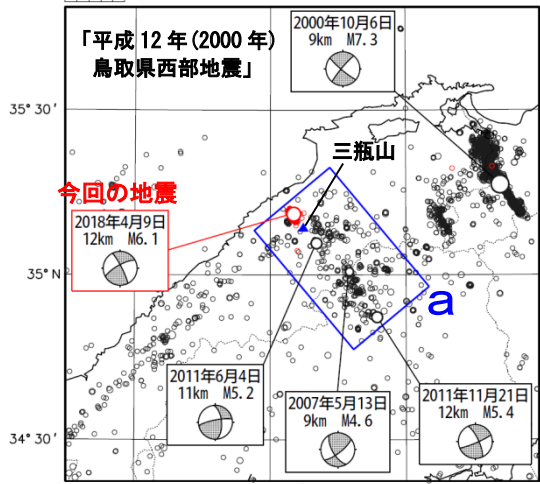
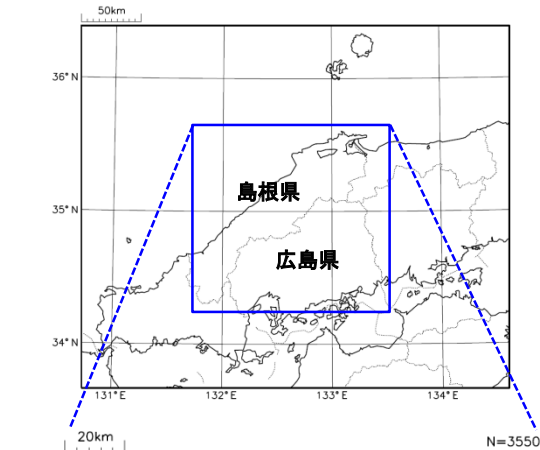
4月9日 島根県西部の地震

震央分布図

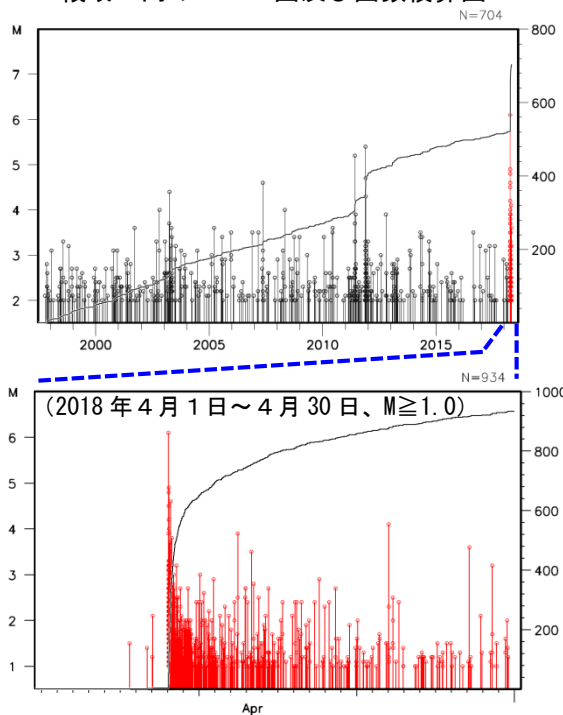
(1997年10月1日～2018年4月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2018年4月の地震を○で表示

▲は活火山を示す



領域a内のM-T図及び回数積算図



2018年4月9日01時32分に島根県西部の深さ12kmで $M6.1$ の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生以降、震源付近で地震活動が活発となり、9日02時10分に $M4.9$ の地震(最大震度4)が発生するなど、震度1以上を観測する地震が4月30日までに今回の地震も含め、47回発生した(震度5強:1回、震度4:4回、震度3:4回、震度2:14回、震度1:24回)。この地震により重傷2人、軽傷7人、住家被害1,570棟などの被害が生じた(5月8日現在、総務省消防庁による)。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2011年11月21日に $M5.4$ (最大震度5弱)の地震が発生し、重傷1人、軽傷1人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

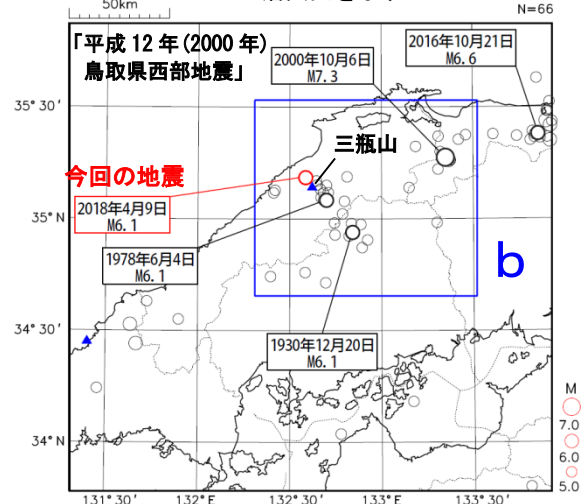
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」($M7.3$)では、重傷39人、軽傷143人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

震央分布図

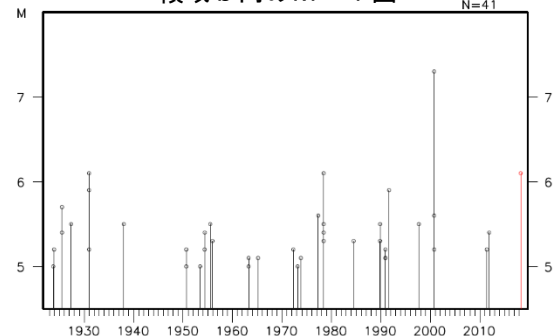
(1923年1月1日～2018年4月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 5.0$)

2018年4月の地震を○で表示

▲は活火山を示す

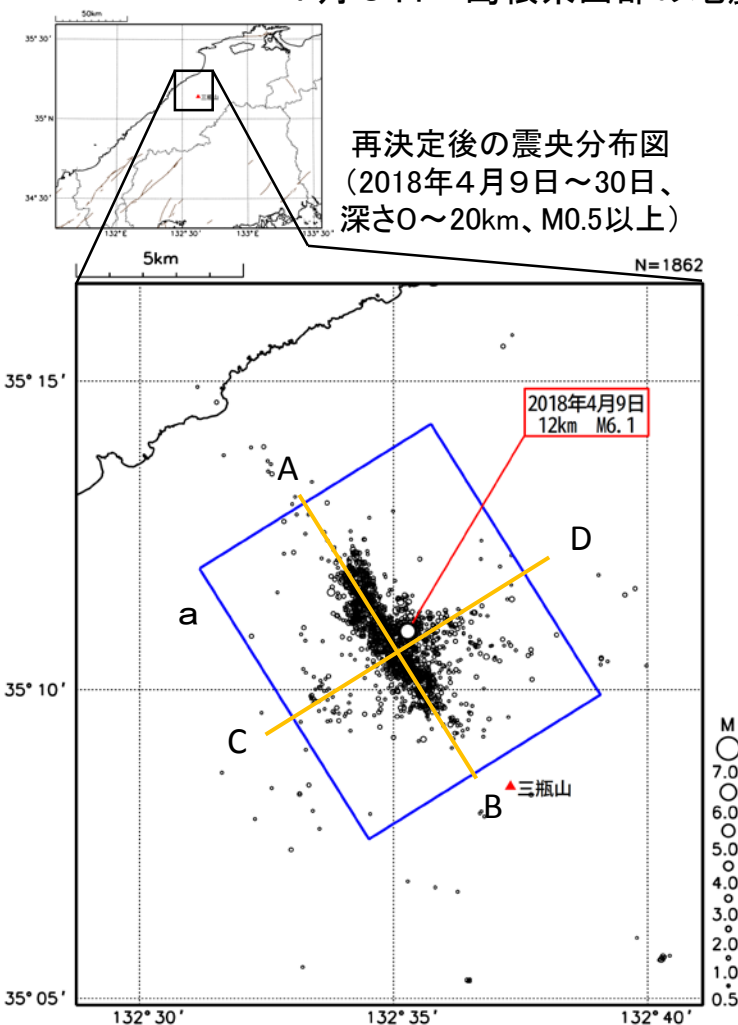


領域b内のM-T図

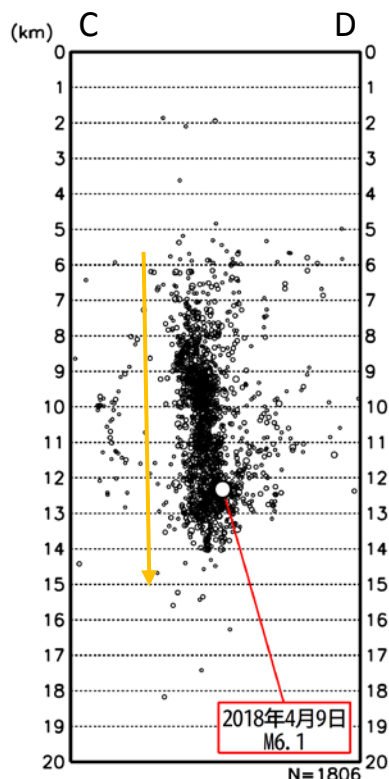
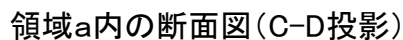
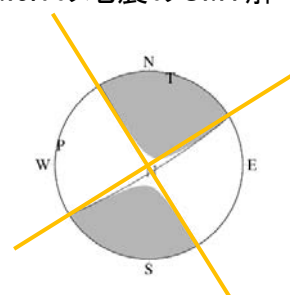
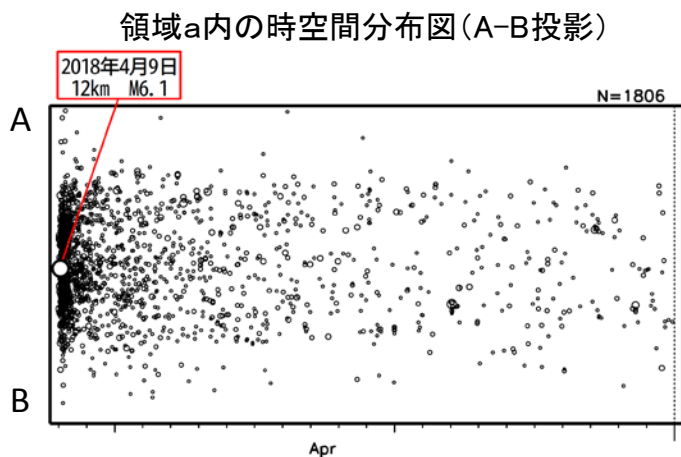


気象庁作成

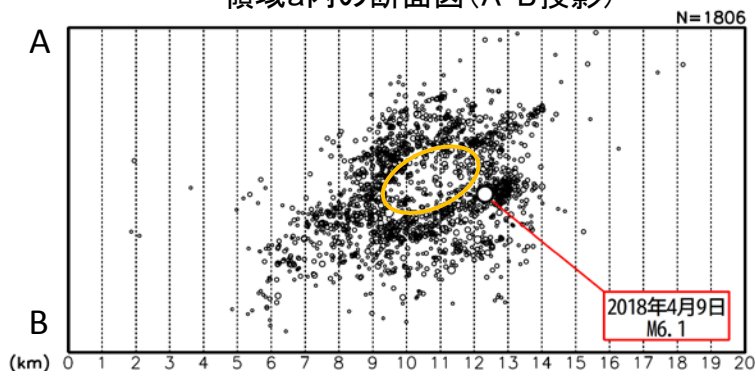
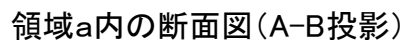
4月9日 島根県西部の地震（DD法による震源再決定）



橙色の線はCMT解の2つの節面の走向を示す。(右図参照)



橙色の矢印はCMT解の断面図に直交する走向を持つ節面の傾斜角を示す。



気象庁一元化震源のうち、M0.5以上の震源を対象として震源再決定を行った。
 上述の震源を観測点限定(18点)で再計算後、観測点補正で再計算を行った震源を初期震源としてDD法による震源再決定を行った。

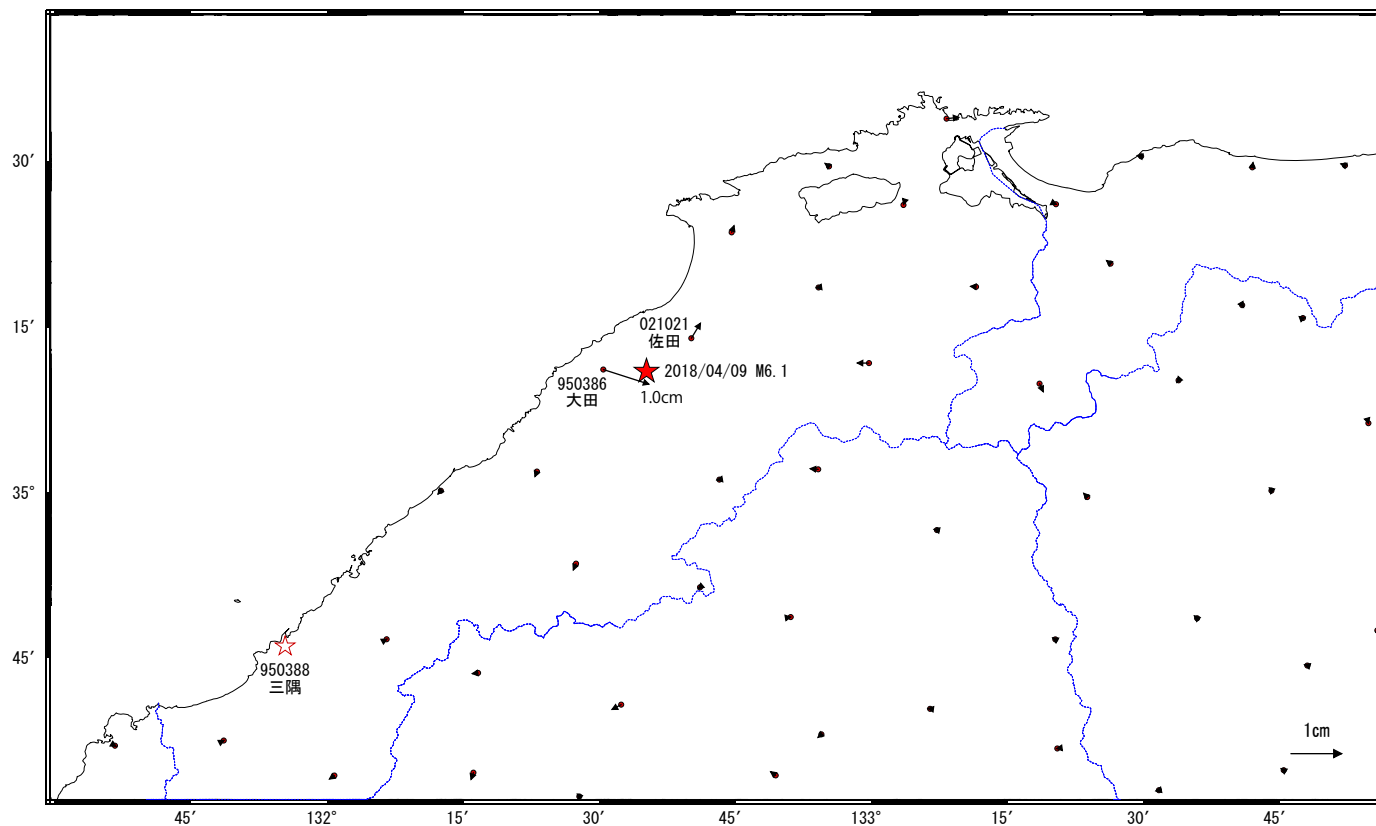
- 震央分布図をみると、主に北北西－南南東方向に直線状に並ぶ分布がみられる。これはM6.1の地震のCMT解の走向と調和的である。また、その分布の走向にほぼ直交するような東北東－西南西方向に並ぶ分布も若干みられる。
- 断面図(C-D投影)をみると、M6.1の地震のCMT解の北北西－南南東走向の節面の傾斜角(89°)と調和的な傾斜分布がみられる。
- 断面図(A-B投影)をみると、M6.1の地震の直上に地震活動の低調な領域がみられる。

島根県西部の地震(4月9日 M6.1)前後の観測データ

この地震に伴い小さな地殻変動が観測された。

地殻変動（水平）

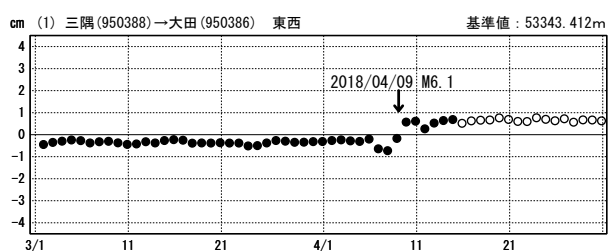
基準期間: 2018/04/01~2018/04/08 [F3: 最終解]
比較期間: 2018/04/10~2018/04/14 [F3: 最終解]



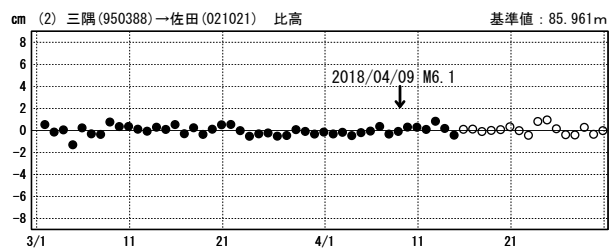
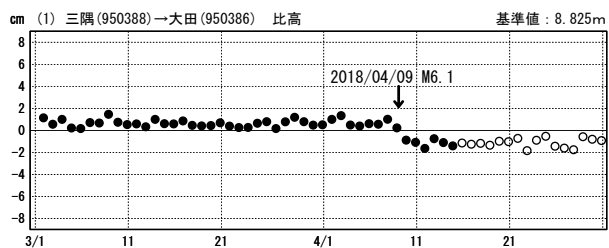
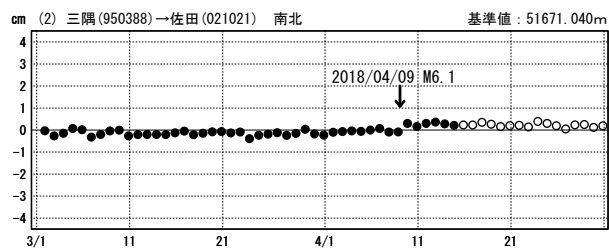
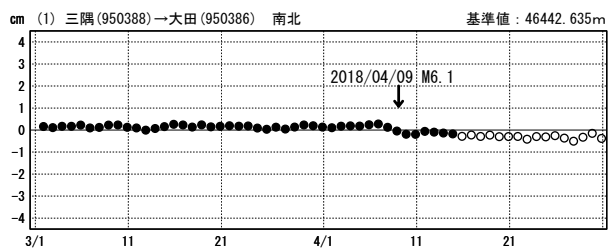
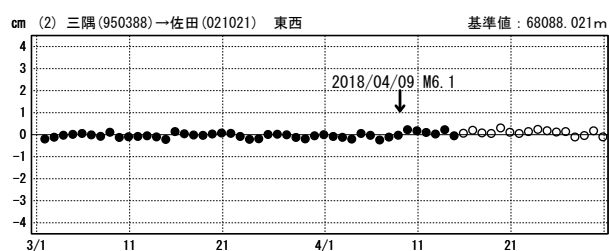
☆ 固定局: 三隅 (950388)

成分変化グラフ

期間: 2018/03/01~2018/04/30 JST



期間: 2018/03/01~2018/04/30 JST



●—[F3: 最終解] ○—[R3: 速報解]